

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	老人集会所運営			事業番号	011-075
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援				
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—				
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—		
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—		
		寄与するKPI	無	取組	—				
2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 [令和6（2024）～令和8（2026）年度]							
3	事業開始年度	昭和 46 年度		点検対象年度	令和 7 年度				
4	実施根拠	堺市立老人集会所条例、堺市立老人集会所条例施行規則、堺市立市民センター条例、堺市立市民センター条例施行規則							

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁…施設維持管理 各区…施設運営委託		
6	事業の対象	原則として、60歳以上の堺市民	対象数	単位
			約276,000	人
7	事業の目的	地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための身近な活動拠点となる場を提供することで、高齢者の心身の健康の増進を図ることを目的とする。		
8	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設の修繕・補修などの維持管理を実施している。 使用申込書の受付などの施設運営は校区老人クラブ連合会等に運営委託している。 平成12年度以降、新たな老人集会所は整備せず、民設民営の老人集会所への転換を進めている。 		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	校区老人クラブ連合会、校区自治連合会		
10	公民連携・協働事業	なし		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	老人集会所の維持管理					
	当該目標を設定した理由	活動拠点を提供することにより、高齢者が健康の増進を図ることができるため。				
	目標に対する実績	新たに老人集会所を整備せず、民設民営の老人集会所を整備するための補助を行っているが、整備に当たっては、地域の合意形成等に相当な調整期間を要するため、施設の修繕・補修などの維持管理を実施している。				
12	活動指標	単位	実績		目標	
	1施設あたりの延べ利用者数	人	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	2,182	2,657	3,132
			実績値	2,316	2,475	
		達成率	106%	93%		
	当該指標を選定した理由	施設を利用する高齢者の福祉の向上が期待できるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	コロナ禍において、令和2年度実績715人を基準とし、令和7年度は1.3倍の930人（5年間で215人、年間43人の増）を目標としていたが、令和4年度の実績が1,707人と目標を上回ったため、令和5年度当初に、コロナ禍前の令和元年度実績3,132人まで、令和5～7年度の3年間で回復させることを新たな目標に設定した。 計算式：（R1：3,132人 - R4：1,707人 = 1,425人）÷3年間 = 475人/年				

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	老人集会所運営	事業番号	011-075
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	3,298	3,748	3,042	6,011	3,454	
13 財源内訳	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他 (地域福祉推進基金)	0	0	0	4,499	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	3,298	3,748	3,042	1,512	3,454
14 人件費 (b)	2,460	2,430	2,430	2,430	2,520	
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	5,758	6,178	5,472	8,441	5,974	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源	
								R6 決算
16 事業費内訳	老人集会所施設整備工事費	R6 決算	2,526	0	研修会等参加負担金 (枠)	R6 決算	0	0
		R7 予算	700	700		R7 予算	17	17
	施設等修繕料 (枠)	R6 決算	193	0	その他保険料 (枠)	R6 決算	14	0
		R7 予算	300	300		R7 予算	15	15
	防災設備保守点検委託料	R6 決算	244	0	印刷製本費 (枠)	R6 決算	0	0
		R7 予算	244	244		R7 予算	15	15
	消耗品費 (枠)	R6 決算	68	0	その他 (青少年センター内老人集会所清掃委託料等)	R6 決算	1,454	0
		R7 予算	56	56		R7 予算	565	565
	樹木伐採、除草等業務	R6 決算	0	0	(区予算) 老人集会所運営委託料	R6 決算	1,512	1,512
		R7 予算	30	30		R7 予算	1,512	1,512

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
① 老人集会所施設数	施設数	22	22
② 上記①にかかる年間経費	千円	6,178	8,441
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	280,818	383,682
算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、利用制限の内容の見直し（緩和）を行ったことで、利用者数は回復傾向にある。
 1施設あたりの施設維持に要した経費は令和5年度と比較した場合、老人集会所の耐震補強等を行ったため、約37%増加しているが、施設利用者数は回復傾向にある。
 令和元年度と比較すると、利用者数が約78%であることから、利用者数のさらなる回復が見込まれる。
 老朽化した老人集会所については、老人集会所への転換に向け、関係課との調整を進め、地元との合意形成を図っていく必要がある。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 老人集会所は、地域の高齢者が、囲碁・将棋、体操・ダンス、カラオケ、書道、手芸などの老人クラブ活動等を行う「通いの場」として活用されている。活動を行うことで、フレイル予防、介護予防につながり、結果として、KPIの指標「前期高齢者の要支援認定率の減少」に寄与している。
 利用者数に関しては、令和5年5月に利用制限の内容の見直し（緩和）を行ったことで、令和5年度と比較して利用者数が約6%増加しており、今後も引き続き回復が見込まれる。